

事業名称		達成状況の評価
事業名	須坂創成高校(仮称)建設事業	A
整理番号	26-2	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	建築物の新築又は増築	
市町村名	須崎市	配慮した項目 29
箇所名	須崎市須坂1616	= 100%
事業年度	平成26年度～平成29年度	
事業概要		
目的	高校再編に伴う須坂創成高校(仮称)(須坂商業高校、須坂園芸高校の再編統合)の校舎・施設等の整備	
事業概要	管理・商業科棟等(RC-4F 4,248.9㎡、RC-3F 753.3㎡、RC-1F 150㎡)渡り廊下(RC-2F 48.6㎡、RC-1F 96.6㎡)	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	都市計画法の用途地域(第二種住居地域) 都市計画法の用途地域(近隣商業地域)	都市計画法の用途地域(準住居地域) 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地
その他	なし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	<b>【大気汚染の防止】</b>	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	適正に実施
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実施
	・防じんシートの設置を行い粉じんの飛散を防止する。	適正に実施
	<b>【騒音、振動の防止】</b>	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	適正に実施
	・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。	適正に実施
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実施
	・防音壁、防音シート、緩衝緑地帯等の遮音設備・吸音設備を設置し、騒音を低減する。	適正に実施
	水環境	<b>【水質汚濁の防止】</b>
・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。		適正に実施
<b>【水循環の保全】</b>		
・透水性舗装の導入や舗装面の削減、浸透側溝・浸透枡・芝舗装の導入等、雨水の地下浸透により水循環を保全する。		適正に実施
	・地下水を使用しない又は使用量を削減する。	適正に実施
地形・地質	<b>【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】</b>	
	・地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	<b>【改変面積の最小化】</b>	
	・段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。	適正に実施
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実施
景観	<b>【すぐれた景観の保全】</b>	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	適正に実施
	<b>【良好な景観の育成】</b>	
	・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	適正に実施
	・樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。	適正に実施
文化財等	<b>【文化財等への配慮】</b>	
	・工事前の発掘調査、又は工事中の立ち合いを行う。	適正に実施

廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	適正に実施
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	【資源の有効利用】	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施
	【エネルギーの有効利用】	
	・LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。	適正に実施
	・建築物の断熱化に努める。	適正に実施
	日照障害・ 電波障害・ 光害	【日照障害への配慮】
・日照障害が生じないように施設の配置や構造、形状等に配慮する。		適正に実施
【電波障害への配慮】		
	・照明の設置にあたっては照明の範囲、時間、照度、光源種類などに配慮し、周辺の生活環境や野生動植物、農作物等への悪影響を低減する。	適正に実施